



大成寺  
おたより



大成寺  
HP

## 4月25日大成寺御忌法要にご参列ください

### ご挨拶

今年の大河ドラマは「どうする家康」です。大成寺もそうですが浄土宗の寺院にはよく徳川の紋である葵紋が掲げられています。これは家康が浄土宗徒であったことから菩提寺である浄土宗大本山増上寺はもとより宗に掲紋の許可を下していたことによります。今年から徳川宗家が代替わりをし、19代徳川家広氏が当主となりました。ドラマの影響もあり各方面のテレビ番組でよくお顔が見られます。

その当主継承の法要が1月29日に増上寺で開かれました。徳川家先祖代々に代替わりを報告し、当主のみに数百年受け継がれてきた品を受け取られたのです。ここで注目していただきたいのは、増上寺の最高位者である御法主台下(ごほつすだいか)が導師となり法要を執り行ったという

ことです。浄土宗の法要は法然上人の説いた「お念仏を口に称となえ、来世には誰もが極楽浄土に往生する」ということを主題とします。そこを指し示し導くのが法要の導師の役割なのです。つまり家広氏は代々受け継がれてきた品よりも重要な、法然上人の「口称念仏(くしょうねんぶつ)」の心を継承されたということですから、それが増上寺で法要を行った最も重要な目的なのです。

昨年大成寺も任職交代がありました。宗に届け出をして手続き上は完了していますが、まだ本堂にて交代法要を執り行っていないません。その法要を「晋山式(しんざんしき)」といえます。新しくお寺に入り任職交代を本尊様の前で報告し「口称念仏」を檀家さまに限らず広く示し導ける導師となることを誓います。予定では7月に執り行います。皆さま

へのご案内は来月になるかと思ひます。どうぞめったにない住職交代の儀式ですので、ご参列お願い申し上げます。

**増上寺御忌大会団体参拝**

4月4日から7日まで3泊4日の日程で増上寺御忌大会（ぞうじょうじぎよきだいえ）の団体参拝旅行に行つてきました。「御忌」は毎年4月に執り行われる法然上人の忌日法要です。大本山増上寺では毎年全国各地から選ばれた住職が導師となり法要を勤めます。4月5日の法要で札幌平岸長専寺の住職が導師を勤め参拝してまいりました。表紙の写真がその法要の様子です。徳川家の法要もこの本堂で勤められました。御忌法要では100人以上の僧侶が参列し壮大な法要が執り行われました。この様子はYouTubeで動画配信されています。「増上寺



「御忌大会」で検索していただくのとご覧になれます。大勢の僧侶の中に大成寺住職もいますので探してみてください。

この法要参列に伴って、スカイツリー、浅草、箱根、鎌倉と団体旅行をしました。



**大成寺御忌会**

そして今月25日は大成寺の御忌法要です。今回も寺内の僧侶のみで執り行うこととなりました。コロナの受け止め方もまだ地方によつてさまざまであり、なかなかコロナ禍前の状況には戻らないようです。御忌は法然上人の忌日法要ですが、お念仏を示し導

いてくださった感謝と実践の法要でもあります。850年前、修行を完成させることのできない一般の私たちを、過去の完成者(仏)と同様に浄土へ往生できる方法として南無

阿弥陀仏と声に出し称(とな)える「念仏」を法然上人が日本で初めて示し導かれました。これにより、出家していない一般の人々が仏の救いに間違いなく預かることができる仏教として「念仏」が日本全国に広がったのです。どうぞ当日はお寺に参拝し先に行かれた大切な方々を念仏の声でご供養ください。詳細は同封の案内をご覧ください。

**行事報告**

前号以降大成寺では恒例の年中行事が勤められました。

**仏名会** 12月15日

念仏を称え一年の罪過を懺悔し、本堂を掃除しました。

**修正会** 1月1日

新年初の法要です。深夜に執り行う静謐な法要です。寺内の仏堂をすべて回り念仏を称えることで、一年の法務が始まります。



**節分会** 2月3日

豆まきをして魔を滅し災いなきよう祈願する法要です。仏教では基本的な五つの戒めである「五戒」を確かめ、行うことを誓い、心の災いを鎮めます。

**彼岸会** 3月21日

春彼岸

菩提の種を

蒔く日かな

春彼岸は「念仏」というさとりの種を蒔き、秋彼岸に実る信心をいただきます

**花まつり** 4月8日

お釈迦様の誕生日です。鉧路市仏教会が主催して執り行います。今年は第91回目を迎えました。ゴルゴ松本さんの講演も好評でした。



**大成寺の地域活動**

11月26〜27日に大成寺明照会館(旧明照幼稚園)を会場に「手作りコレクション」というイベントが開催されました。園庭にキックカーが並び、園舎ではアクセサリや小物などのブースが10店舗以上集まりました。これは「二町てらこや」と「二町青年団」が共催で地域活性化のために企画したものです。てらこやの教育大生は子供担当の



ブースを作り来場の家族連れを楽しませました。両日合わせて600人以上が集まりました。



1月15日には大成寺で、3月13日は本行寺で「元町おてら食堂」が開催されました。恒例となった地域イベントです。「お寺の広間を地域の居間に」というコンセプトで多世代にわたった和やかな食



事の空間を提供することを心掛けています。

また5月27、28日には大成寺明照会館で「手作りコレクシヨン」が、28日には本行寺さんで「元町おてら食堂」が同時開催されます。元町地域がにぎやかになるように企画しました。是非お越しください。

1月22日には大成寺を会場に「NPOグローバルみらいネット」とくしる元町フットパスを広め隊」の共催で『歩いてみれば、何かが見える』と題した講演会が開かれました。



2月26日には第11回特別講座として「元町講座」が開



かれました。この数年、元町地区を研究活動の場としてくれていた釧路公立大生のゼミ生と、釧路北陽高校放送部の生徒が一般の人に向けて研究発表を行いました。

お寺は様々な人を結びつける場でもあります。これからも地域とともに歩む持続的な活動を続けていきたいと思